

目次

第一章 G-TRACE Light と G-MEN
1 - 1.起動と接続・・・・・・・・・・・・・・3
1 - 2.複数の G-MEN との接続・・・・・・3
第二章 計測
2 - 1.G-MEN 計測の設定・・・・・・・4
2 - 2.G-MEN 計測開始・・・・・・・・6
2 - 3.記録データの読み取り・・・・・・・・・7
2 - 4.データの保存・・・・・・・・・・・・・9
第三章 データ表示画面の操作
3‐1.ファイル・・・・・・・・・・・・・・・10
3‐2.計測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
3 - 3.グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・11
3 - 3 - 1.グラフ表示・・・・・・・・・・・・11
3 - 3 - 2.棒グラフ・・・・・・・・・・・・・11
3 - 3 - 3.横軸・・・・・・・・・・・・・・・・12
3 - 3 - 4.縦軸・・・・・・・・・・・・・・・・12
3 - 3 - 5.グラフコピー・・・・・・・・・・・13
3 - 3 - 6.グラフのプロパティー・・・・・・・・13
3 - 4.表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
3 - 5.ヘルプ・・・・・・・・・・・・・・・13
第四章 条件設定画面の操作
4 - 1.ファイル・・・・・・・・・・・・・・・14
4 - 2.編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
4‐3.計測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
4 - 3 - 1.即時測定開始・・・・・・・・・・・・15
4 - 3 - 2.予約測定開始・・・・・・・・・・・・・€
4 - 3 - 3.計測条件・・・・・・・・・・・・・・・
4 - 3 - 4.条件ウィザード・・・・・・・・・・17
4 - 4.表示・・・・・・・・・・・・・・・・・19
4 - 4 - 1.プロファイル· · · · · · · · · · · · · 19
4 - 4 - 2.テンプレート・・・・・・・・・・・20
4 - 4 - 3.データ表示画面・・・・・・・・・・20
4 - 5.ヘルプ・・・・・・・・・・・・・・・・20

第一章 G-TRACE Light と G-MEN

1-1. 起動と接続

G-TRACE Lightの起動と G-MEN との接続



G-MEN との接続は、G-TRACE Light の起動後でも起動 前でもどちらでも構いません。また、全く接続せずに起動 する事も可能です。



スタートメニューから G-TRACE Light を選択、またはデスクト ップ上のショートカットアイコンのクリックにより、G-TRACE Light を起動します。(条件設定画面)

G-TRACE Light は G-MEN の接続の有無を自動検出します。

G-MEN を接続するとG-TRACE Light は現在のG-MEN 接続状態を、条件設定画面/データ 表示画面のどちらにおいても、G-MEN のグラフィックスで表示しています。(グラフィックスは、 G-MEN DR です)

条件設定画面

<u>データ表示画面</u>





またそれぞれの画面のステータスバーにも「G-MEN に接続しました」と表示され機種と 本体 RLS 番号が表示されます

1-2. 複数の G-MEN との接続

G-TRACE Light は複数の G-MEN の接続はできません。複数の USB ポートを持つ パソコンに G-MEN を接続しても 1 台のコンピュータに対し 1 台の G-MEN の認識 になります。

第二章 計測

2-1. G-MEN の計測設定

測定を開始するために、条件設定画面で計測にあった条件をG-MEN に設定します。 G-MEN(DR10·DR02·NR50)と接続します。

メニューの「計測」-「条件設定ウィザード」をクリック または ^国 キ件設定ウィザード ボタンをクリックします 条件設定ウィザードのダイアログが表示されるので各設定を行ってください

【サンプリングの設定】

条件設定ウィザー	k	2
サンプリングを設定	としてください。	
サンプリン	5 	
計測する周期を調	没定します。 設定すると し きいばい トカヨショル ちゅうようかんごひょう	
ドレースモートを見	離します。(トリガーモード)	このとりファクラクロ
		The second of the
	< 「戻る(也) │ 次へ(№) > │	キャンセル

サンプリングは計測の周期です。

10msec,20msec,31msec,62msec,125msec の 5 通りから 選択、またはトレースモードを選択する。トレースモード を選択すると、しきい値以上を計測した時点から設定し たサンプリング周期ごとの記録を開始します(トリガーモ ード)。160·500msec は G-MEN 3GT 読取専用です。 設定後 次へのボタンをクリックしてください

【記録間隔の設定】

記録問題				
源を設定します た記録間隔内の	。)サンブリング計測の)最大値を記録します	す。(1データ/記録間	隔)



ノブリング計測 [1データ/記録	順を全て語 新聞隔	己録します。	
/百2(0)		64 (A) X 1	العطور لأحد عطو
	/ブリング計測 1データ/記録 く 戻る(B)	/プリング計測値を全て話 1データ/記録間隔 < 戻る(B) ┃ 〕;	ノブリング計測値を全て記録します。 1データ/記録間隔 く戻る(B) (次へ(い))

記録間隔は指定した記録間隔内のサンプリング計 測の最大値を記録します(1 データ/記録間隔)。 1・5・10・15・20・30 秒 1・2・3・4・5・10・15・ 20・30 分の 15 通りから選択します。 設定後 次へのボタンをクリックしてください

ヒント:記録データ数は、最大 8,000 又は 16,300 データ です。記録間隔が短いと記録時間が短くなり 長時間の記録ができなくなります。

しきい値の設定は0.1G~49.0Gまで選択できます。 (各機種により測定範囲外のしきい値設定は出来 ません。またNR50は分解能が0.5Gでしきい値は 0.5G刻みとなります。) 指定したしきい値を超えたサンプリング計測値を 全て記録します。(しきい値0.0Gの場合は、最大値 1データ/記録間隔) 設定後 次へのボタンをクリックしてください

ヒント: しきい値の設定値が小さいと細かい振動や 衝撃を敏感に検出し記録時間が極端に短く なります

【しきい値超検出】

しきい値超検出を誘	定してください。		
しきい値超検。 【 】 】	± ∎₽		
しきい値以上の値? す。 (トレースモード実行	を検出したときLCD(c [*]) i時は無効)	SHOCKED″を表示させる	ちかどうかを設定しま

【本体番号】



【開始オプション】





しきい値以上の値を検出した時、G-MENDR本体 液晶画面に"SHOCKED"を表示・非表示の設定を します。(トレースモード実行時は無効) G-MEN NR50については無効です。

次へのボタンをクリックしてください。

G-MEN に 1-99 の番号を設定します。 ただし、既存のプロファイルに設定した本体番号は指定 できません。(プロファイルについては、P.17 4-4-1.参 照)。

設定後 次へのボタンをクリックしてください

ヒント:本体番号はデータ保存の際に自動的にファイル 名の先頭に付きます。

G-MENの計測開始オプションの設定です。

5~90 は、USB ケーブルを抜いてから計測を開始するまでのアイドル時間を設定になります。(5~90 秒)

- 1~4 については 付属マグネットでスイッチ機能を使用し、 計測開始します。
- 0 = 即時計測開始。DR は本体液晶に最大値表示 *M 000マグネットでリセット可能
- 1= 付属マグネットを本体へ当ててから離すと計測開始。
- 2= 付属マグネットを本体へ当ててから離すと計測開始。 スタート後再度マグネットを本体へあてると測定停止。 DR 液晶は SLEEPNG と表示し、NR は LED が消える
- 3= 付属マグネットを本体へ当ててから離すと計測開始。 スタート後再度マグネットを本体に付けている間、計測は 一時停止し、本体からマグネットを離すと計測を再開し ます。これは、繰り返しできます。
- 4= 付属マグネットを本体に当てて離すと計測は一時停止 します。再度マグネットを本体に付けている間、計測を 再開します。これは繰り返しできます。

注:開始オプションは予約測定開始の場合は、全て無効です

設定後、完了のボタンをクリックしてください。以上でG-MENの計測条件設定は終わりです

【計測条件ウィザードー括形式】



計測条件ウィザードには、前記のような 対話形式と 左図のように一括形式があります。

 環境設定
 ×

 ファイル CSV

 条件設定ウィザード(W)

 ・
 所話形式

 ・
 一括形式

 ・
 オー括形式

 ・
 フロファイルの更新を禁止する(P)

ー括形式への設定は、メニューの「ファイル」-「環境設 定」を選択します。

環境設定ダイアログが表示されるので一括形式を指定します。

2-2 G-MEN 計測開始

2-1.で G-MEN へ計測に必要な条件を設定後し、計測を開始します

[即時測定開始の場合]

メニューの「計測」 「即時測定開始」または 10 期時測定開始 ボタンをクリックします



即時測定開始確認ダイアログが表示されますので 「はい」をクリックします。





G-MEN にすでに計測データが入っていた場合 左のように「データをクリアにしてよろしいです か?」確認のダイアログが表示されます。どちらかを クリックしてください。

次に「G-MEN ケーブルを外してください。」とダイ アログが表示されますので、「OK」をクリックし、 G-MEN 側の USB ケーブルを外してください。 開始オプションで設定した条件で測定を開始します。 G-MEN-DR は、液晶画面にアイドル時間又はマグネッ ト待ちの表示。

G-MEN-NR は アイドル時間ブザー音が鳴ります。 開始オプション 0~4 は マグネットを使用します。

[予約測定開始の場合]

メニューの「計測」	予約測定開始」または 🔍 予約期定開始 ボタンをクリックします
予約規定開始 開始オブションは無効です。 測定開始日時 日付① 2005年4月21日 時刻(①) 11:15 ○K	計測開始時刻を指定するには、目的の日付を直接入力 または をクリックしカレンダーから日付を指定します。時刻 は直接入力するか で時刻を指定します。日時の指定後 「OK」をクリックします。
G-TRACE	予約測定開始確認ダイアログが表示されますので「はい」を



クリックします。

		+88541 ==-
\bigcirc	はろしいですか?	SUMBE OR 1
	はい(Y) (いいえい)	

G-MEN にすでに計測データが入っていた場合 左のように「データをクリアにしてよろしいですか?」確認 のダイアログが表示されます



次に「G-MEN ケーブルを外してください。」とダイアログが 表示されますので、「OK」をクリックし、G-MEN 側の USB ケーブルを外してください。

G-MEN-DRは、本体の液晶画面に予約日時が表示されます。 G-MEN-NR50は、LEDが1秒間隔で点滅します。 両機種とも予約日時に計測開始します。

2-3. 記録データの読み取り

G-MEN内に記録されたデータを読み取ります。

G-MEN を接続します。G-TRACE Light の条件設定画面 G-MEN のグラフィックスが接続状 態になります。(グラフィックスは G-MEN DR です)



メニューの「表示」-「データ表示画面」をクリックするとデータ表示画 面に移動します。またはG-MENのグラフィックスをポイントし データ表示をクリックするとデータ表示画面に移動します。

【データ表示画面】







データの読み取りが終了するとデータ表示画面 にデーター覧とグラフが表示されます。 ステータスバーには、今読み取りをしたG-MEN の記録数・サンプリング周期・記録間隔・しきい 値・本体番号を表示します。

X・Y・Z軸の単位は「表示」-「加速度単位」で「G・m/sec2・Gal」から任意の単位で表示できます。
 合力の計算式は (X×X)+(Y×Y)+(Z×Z)
 です

時刻の最小単位は、10msecになります。

<G-MEN NR50のデータグラフの見方> しきい値設定「0」とした場合 マイナスの表示がありません。



しきい値「0」は、記録間隔中の最大値を 正の値としてのみ記録します。

センサの性質上前後のデータが無い場合、 最大加速値の正負は意味をもたないためです。 しきい値設定「有り」とした場合 プラスとマイナスの表示になります。



2-4.データの保存



Ctrl+P 12.... D标行公



測定データ保存ダイアログが表示されます。フォルダと ファイル名を指定し G - MEN の測定データを保存しま す。ファイルの保存形式は[*.gtr]になります

【CSV 形式で出力】



データ表示画面のメニューから「ファイル」-「CSV 形式で出力」を クリックします

データ表示画面のメニューから「ファイル」 - 「名前を付けて保存」

を選択するか、 🖳 (森子) ボタンをクリックします。

注意:G-TRACE Light では CSV に出力できるデータは X軸・ Y軸・Z軸・温度の4種です。(合力は出力しません。)



CSV 形式で出力のダイアログが表示されます。フォルダ とファイル名を指定し G - MEN の測定データを CSV 出 力します。ファイルの出力形式は[*.csv]カンマ区切りにな ります

出力の加速度の単位は、「環境設定」「CSV」で選択した 単位で出力されます。

第三章 データ表示画面での操作

G-TRACE Light のデータ表示画面では、取得したデータを一画面上にグラフとリストを表示 しており、グラフのピークをマウスでポイントするとリスト上の該当データがドラッグされ、ま たリスト上の1つのデータを選択すると グラフのどの位置かが一目でわかります。

グラフの拡大・縮小も簡単に操作できます。

ここではメニュー項目順に説明をしていきます。



3-1.ファイル

7711(E)	計測(S)	ゲラフ(G)
閒((○)	win an seaton	Ctrl+O
名前を作	打けて保存(色	D., Ctrl-A
CSV形式	代で出力(C)	Ctrl-T
印刷(P)		Ctrl+P
環境設計	₴(<u>N</u>)	
G-TRA	CEの終了公)

開く(O)は G-TRACE Light で保存したファイルを開くことが できます。(拡張子*.gtr) [☞] ■ボタンも同様

名前を付けて保存(A)は

表示されているデータを保存します。

(拡張子*.gtr) 🖳 (#平) ボタンも同様

CSV 形式で出力(C)は

表示されているデータを CSV 形式で出力します。 (注意:合力は出力されません)

印刷(P)は グラフの表示されているイメージを印刷します。

● 印刷 ボタンも同様。

(注意:データリストは印刷しません。)

【環境設定(N) ファイル】

←条件設定ウィザード(W)	測定データの保存確認(5) (○表示する
「 ブロファイルの更新を禁止	-da(P)

【環境設定(N) CSV】

環境設定		×
771/ル CSV - 加速度単位(山) 「「「」」 「「」」、「」」、「」」、「」 「「」」、「」」、「」、「」、「」、」、「」、	☐ G-SCANNER互换⑤)	
	ОК	キャンセル

条件設定ウィザード形式の指定(対話形式・一括形式) 測定データ保存確認の指定。「表示する」を指定すると「デ ータが保存されていません保存しますか」の確認ダイアロ グが出ます。

「プロファイルの更新を禁止する」を選択するとプロファ イルの更新はできません。

CSV 形式で出力をするときの単位を指定します。

G・m/s2・Galの単位から選択します。

1G = 9.8m/s2 = 980Gal

G-SCANNER 互換を指定するとG-MEN3GT 専用ソフト G-SCANNER Light でファイルが開ける CSV 形式になり ます。

3-2.計測



データ取得をクリックすると接続されている G-MEN の記録デー タを取得できます。

3-3、グラフ



グラフ(G)では グラフの表示・棒グラフ・横軸・縦軸・グラフの コピー・グラフのプロパティの設定ができます。

3-3-1 グラフ表示



グラフ表示(G)では、グラフに表示をさせたいデータに 選択レをいれます。非表示はレ を外します またはデータ表示画面下のグラフボタンをクリックすること で表示・非表示を選択できます

Z Z軸

G 合力

Y Y軸

3-3-2 棒グラフ

棒グラフ(B)をクリックレすると表示されている線グラフを棒グラフにします。またデータ表 示画面の右下の IIIボタンをクリックしても線グラフと棒グラフを切り替えます

X X軸

C温度

3-3-3 横軸

がラフ(<u>G</u>) 表示(V) ^ル	7°(<u>H</u>)
ケラフ表示(G) ・ ・棒グラフ(B)	☆ データ取得
横軸(円)	拡大型
縦軸⊙	· 縮小(<u>D</u>) 会(本主三(A)
グラフのコヒ°−(<u>©</u>) グラフのプロパティ(<u>O</u>)	±1430100

横軸(H)では表示されているグラフの横軸の拡大(I)・縮小 (D)・全体表示(A)を設定できます。

拡大(I)をクリックすると表示されているグラフを拡大します。 拡大は繰り返し行えます。

またはグラフボタン ④ ^{3 拡大} をクリックすると指定範囲を中 心に拡大します。グラフ画面下のスクロールバーで見たい

ところへ移動してください

拡大前 (拡大ボタン ④ 拡大 で範囲を指定)

拡大後のグラフ



グラフの縮小(D)は拡大されたグラフを縮小します。またグラフボタン ^{Q 縮小}でも縮小できま す。このとき縮小は拡大された 同回数で元に戻ります。

ヒント:全体表示(A)またはデータ画面表示左下の横スケールリセットボタン とつ度で元のサイズに戻ります。

3-3-4.縦軸



縦軸(V)では、表示されているグラフ縦軸の拡大(I)・縮 小(D)・中央表示(A)を設定できます 拡大(I)をクリックすると表示されているグラフを拡大 します。拡大は繰り返し行えます。グラフ右縦のスクロ ールバーで見たいところへ移動してください。 縮小(D)は拡大されたグラフを縮小します。 このとき縮小は拡大された同回数で元にもどります。

ヒント:中央表示(C)またはデータ画面表示左下の縦スケールリセットボタン 1をクリックする と一度に元のサイズにもどります。グラフボタンの ④ 拡大 〇 峰小 は、横軸のみ対応です

3-3-5. グラフのコピー



グラフをワープロや表計算ソフトなどに画像として コピーすることができます。またグラフ上でマウス の右クリックでもコピーできます



他のソフトにコピーを貼り付けたグラフ。 タイトル及びグラフ線を表記します。

3-3-6.グラフのプロパティー

è		─ _ 画面折れ線グラフ線幅(L) -
X#BOO F		◎細い ○太い
Yte ()		-印刷折れ線グラフ線幅(2)-
Z\$8(Z)		○細い ○太い
合力(④) [-		時刻表示(出)
温度(<u>C</u>)		 ○時刻 ○経過時間
選択⊈ [•		印刷タイトル①
	標準色(<u>D</u>)	G-MEN 測定結果グラフ

グラフのプロパティ(O)ではグラフ線の色・太さ・時刻 表示・印刷タイトルの設定ができます。

グラフプロパティー(O)またはグラフボタン ^{| 必プロパティ} をクリックするとグラフプロパティーのダイアログが 表示されます。

色の指定はそれぞれのグラフ線の参照ボタンを押して 色の設定して「OK」クリックしてください。

時刻表示は 取得したデータの時間経緯を時刻で表示 するかまたは経過時間で表示するかの設定です。 印刷タイトル(T)はグラフ印刷時にタイトルとして グラフの上部に印刷されます。

3-4. 表示



加速度単位は、表示されているデータの加速度単位を選択します。 「G・m/sec2・Gal」任意の単位で表示します。 条件設定画面(S)は、クリックするとデータ表示画面から条件設定画 面へ移動します。メニューボタン ^{全条件設定}をクリックしても同様です。

3-5. ヘルプ



ヘルプ(H)では ヘルプ(H)・バージョン情報(A)・オンラインサポート(S)を表示します。

第四章 条件設定画面での操作

条件設定画面では、G-MENの計測に必要な記録設定を指定します。設定の方法には テンプレートやプロファイル(初期値は登録無し)を使って条件を設定する方法と個々に 設定を入力する方法があります。

L1 即時測定開始 L3 予約測定開始		ロアイル	計測条件
プロファイル バイク便3		サンプリング 日日日日 初日日 日日 日日日 日日 日日	開始オプション
01 バイク使3)自 thu	記録間隔	記錄数
	更新	しきい値	
	削 除	しきい値超検出	
	受信	本体番号	
		変更	
		戻す	\square
プロファイル テンプレート			^{ブード} G·MEN 接続状態

4-1.ファイル

でき
<u>%7⊗</u>
- 測定データの保存確認(S)-
 ● 表示する
○ 表示しない
13(P)
13(P)

加速度単位(U) C C C C C C-SCANNER互換(S)	PTIL CSV	
C m/s ² C Gai	-加速度単位(U)	「G-SCANNER五換(S)

ファイル(E) 編集(E) 計測(S) ファイル(F)では環境設定(N)と G-TRACE Light の終了(X)の設定が 環境設定(N)... できます

<u>環境設定(N) ファイルは</u>

条件設定ウィザード形式の指定(対話形式・一括形式)。 測定データ保存確認の指定。「表示する」を指定すると「デ ータが保存されていません保存しますか」の確認ダイアロ グが出ます。「プロファイルの更新を禁止する」を選択する とプロファイルの更新はできません。

<u> 環境設定(N) CSV は</u>

CSV 形式で出力をするときの単位を指定します。

G・m/s2・Galの単位から選択します。

1G = 9.8 m/s2 = 980 Gal

G-SCANNER 互換を指定すると G-MEN3GT 専用ソフト G-SCANNER Light でファイルが開ける CSV 形式になり ます。

4-2. 編集

編集では、プロファイルの追加、更新、削除と、G-MEN本体に設定されている情報の受信をします。(プロファイルについては、4-4-1を参照ください。)



4-3. 計測

計測(S)では、計測開始と計測条件を設定します。



4-3-1.即時測定開始

メニューの「計測」 「即時測定開始」または ^{11 即時測定開始}ボタンをクリックします



即時測定開始確認ダイアログが表示されますので「はい」をクリッ クします。



G-MEN にすでに計測データが入っていた場合 左のように「データをクリアにしてよいか」確認のダイアログが 表示されます



次に「G-MEN ケーブルを外してください。」とダイ アログが表示されますので、「OK」をクリックし、 G-MEN 側の USB ケーブルを外してください。 開始オプションで設定した条件で測定を開始します。 G-MEN-DR は、液晶画面にアイドル時間又はマグネッ ト待ちの表示。 G-MEN-NR は アイドル時間ブザー音が鳴ります。

開始オプション0~4は マグネットを使用します。

4-3-2.予約測定開始

メニューの「計測」 「予約測定開始」または ^{🚺 予約測定開始} ボタンをクリックします



計測開始時刻を指定するには、目的の日付を直接入力 するか をクリックしてカレンダーから日付を指定しま す。時刻は直接入力するか で時刻を指定します。日時 の指定後「OK」をクリックします。



予約測定開始確認ダイアログが表示されるので「はい」をク リックします。

a-TRAC		_
?	G-MEN計測データをクリアして) よろしいですか?	測定を開始しま
	(tum) ((1072)	N

G-MEN にすでに計測データが入っていた場合 左のように「データをクリアにしてよいか」確認のダイアロ グが表示されます



次に「G-MEN ケーブルを外してください。」とダイアログが 表示されますので、「OK」をクリックし、G-MEN 側の USB ケーブルを外してください。

G-MEN-DR は、本体の液晶画面に予約日時が表示されます。 G-MEN-NR50 は、LED が1秒間隔で点滅します。 両機種とも予約日時に計測開始します。

4-3-3 計測条件



計測条件(O)は、G-MEN の計測条件の設定・条件の変更と 変更条件を元に戻すことができます。



計測条件(O) - 「変更」または 変更 ボタンをクリッ クすると計測条件の各設定画面に が表示されます。 マウスクリックで数値を指定します。

4-3-4. 条件設定ウィザード



条件設定ウィザード(W)をクリックすると条件設定ウィザードのダイアログが表示されます。 メニューの「計測」-「条件設定ウィザード」をクリックまたは条件設定ウィザード 「「条件設定ウィザード」がタンをクリックします。 条件設定ウィザードのダイアログが表示されるので各設定を行って

【サンプリングの設定】

サンプリング 0.03 12 秒			
+測する周期を設定] [.±		
レースモードを選択す ルースモードを選択す れことの記録を開始し	はなく、しきい値以上を ます。(トリガーモード	計測した時点から設 〉	定したサンプリング周

【記録間隔の設定】

サンプリングは 10msec, 20msec,31msec,62msec, 125msec の 5 通りから選択、またトレースモードを選択 する。トレースモードは<u>指定したしきい値以上を計測し</u> た時点から設定したサンプリング周期ごとの記録を開始 します(トリガーモード)。 160.500msec は G-MEN 3GT 読取専用です。

設定後 次へのボタンをクリックしてください

記録間隔を設定して	ください。		
記録間隔	e		
11.10 10/0/00/00/00	adu		
記録間隔を設定しま	.व.		0 AL 012 (02020)
記録間隔を設定しま 指定した記録間隔内	す。 かのサンプリング計測の	最大値を記録します。	〈1データ/記録間隔
記録間隔を設定しま 指定した記録間隔の	き。 うのサンプリング計測の	最大値を記録します。	〈1データ/記録間隔

記録間隔は、1・5・10・15・20・30 秒 1・2・3・4・ 5・10・15・20・30 分の 15 通りから選択します。指 定した記録間隔内のサンプリング計測の最大値を記 録します(1 データ/記録間隔) 設定後 次へのボタンをクリックしてください ヒント:記録データ数は、最大 8,000 又は 16,300 データで す。記録間隔が短いと記録時間が短くなり、長時間の記 録ができなくなります。



【しきい値の設定】

しきい値の設定は0.1G~49.0Gまで選択できます。 (各機種により測定範囲外のしきい値設定は出来 ません。またNR50は分解能が0.5Gでしきい値は 0.5G刻みとなります。)

指定したしきい値を超えたサンプリング計測値を 全て記録します。(しきい値 0.0G の場合は、最大値 1 データ/記録間隔)

設定後 次へのボタンをクリックしてください ヒント:しきい値の設定値が小さいと細かい振動や 衝撃を敏感に検出し記録時間が極端に短くなります

【しきい値超検出】

条件設定ウィザード			
しきい値超検出を設定	目してください。		
しきい値超検出			
しきい値以上の値を す。 (トレースモード実行時	剣出したときLCDにざSH 気は無効)	OCKED″を表示させ	るかどうかを設定しま
	< 戻る(<u>B</u>)	(次へ(N))>] <u>*</u> #>\till

【本体番号】

しきい値以上の値を検出した時、G-MENDR本体 液晶画面に"SHOCKED"を表示・非表示の設定を します。(トレースモード実行時は無効) G-MEN NR50については無効です。 次へのボタンをクリックしてください。

条件設定ウィザード X	G-M
本体番号を設定してください。	ただ
	定で
G-MENに1-99の番号を設定します。 ただし、既存のブロファイルに設定した本体番号は指定できません。	設定
	ヒント
〈戻る(四) 次へ(11) > キャンセル	

6-MEN に 1-99 の番号を設定します。

ただし、既存のプロファイルに設定した本体番号は指 定できません。

設定後 次へのボタンをクリックしてください

ヒント:本体番号はデータ保存の際に自動的にファイ ル名の先頭に付きます。

【開始オプション】



マグネットをあてる位置 「「「「「「」」」 「「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 G-MENの計測開始オプションの設定です。

5~90=USB ケーブルを抜いてから計測を開始するまでのアイドル時間を設定します。(5~90 秒)

1~4 については 付属マグネットでスイッチ機能を使用し、 計測開始します。

0 = 即時計測開始。DR10·DR02 は本体液晶には最大値 表示モード * M 000 (マグネットでリセット可能)

1=付属マグネットを本体へ当ててから離すと計測開始。

2=付属マグネットを本体へ当ててから離すと計測開始。

スタート後再度マグネットを本体へあてると測定停止。 3=付属マグネットを本体へ当ててから離すと計測開始。

- スタート後再度マグネットを本体に付けている間、計測 は 一時停止し、本体からマグネットを離すと計測を再 開します。これは、繰り返しできます。
- 4= 付属マグネットを本体に当てて離すと計測は一時停止 します。再度マグネットを本体に付けている間、計測を 再開します。これは繰り返しできます。

注:開始オプションは予約測定開始の場合は、全て無効です

設定後、完了のボタンをクリックしてください。以上で G-MEN の計測条件設定は終わりです

【計測条件ウィザードー括形式】



計測条件ウィザードには、前記のような 対話形式と 左図のように一括形式があります。

 環境設定
 一方

 7ァイル CSV |
 定」

 条件設定ウィザード(W)
 測定データの(保存確認(S))

 で 對話形式
 で 表示する

 で 一括形式
 で 表示しない

 「 フロファイルの更新を禁止する(P)
 OK

ー括形式への設定は、メニューの「ファイル」-「環境設定」を選択します。環境設定ダイアログが表示されますの で一括形式を指定します。

4-4. 表示



表示ではプロファイル(P)、テンプレート(T)、データ表示画面(D)の 設定ができます

4-4-1. プロファイル

プロファイルの設定と活用法

プロファイルとは G-MEN の計測条件を使用目的別に登録しておく機能です。 G-MEN 使用時に目的にあったプロファイルを選択し、計測を開始する。

プロファイルの設定 (G-MEN は接続・未接続でも設定できます) メニューの「表示」 「プロファイル」を選択または ボタンをクリックします。 画面はプロファイルの設定可能の画面になります。

	U.U.I IL 19 😴	
is to 1		
更新	記錄間隔	記錄数
81 Be	15 w 🗧	8888
爱信		
	追加 更新 削除 受信	道加 更新 时除 笑信

メニュー「計測」 「計測条件」-「変 更」または 変更 ボタンをクリック します。計測条件に初期値が表示される ので使用条件にあった数値に変更して ください。条件設定ウィザードでも可能 です

計測条件が決まりましたらプロファイル名を入力して 4-2.編集の「追加」または ^{通 加} ボタ ンをクリックします。プロファイルは登録されました。 【プロファイル設定で計測開始】

G-MEN を接続し目的のプロファイルをクリックし表示された条件を確認して 即時測定開始または予約測定開始をしてください。

注意:予約測定開始では開始オプションは無効となります。

【プロファイルの更新・削除】

登録したプロファイルの条件を変更したときは、該当するプロファイルをクリック選択し「編集」 「更新」または 『*** ボタンをクリックします。(環境設定で「プロファイルの更新を禁止す る」を選択した場合は更新できません) 登録したプロファイルを削除するとき「編集」-「削除」または ^{||| 除} ボタンをクリックします

4-4-2. テンプレート

メニューの「表示」 「テンプレート」を選択または デンプレート」ボタンをクリックします。 画面はテンプレートの設定可能の画面になります。

更新		
	更新	
利日期	81 Bk	
愛 (音	愛 (8	

よく使われる計測条件が登録されています。テンプレートは追加・ 更新・削除はできません。

4-4-3.データ表示画面



メニューの「表示」 - 「データ表示画面」をクリックするとデータ表示 画面に移動します。または G - MEN のグラフィックスをポイントし データ表示 をクリックするとデータ表示画面に移動します。

4-5. ヘルプ



ヘルプ(H)では ヘルプ(H)・バージョン情報(A)・オンラインサポ ート(S)を表示します。

電池消耗の目安

G-MEN NR50 は、サンプリング時間に関わらず 消費電流は 2mA になり 乾電池の使用は、約 20 日前後になります。

G-MEN DR10・DR02 は

サンプル周期	消費電流	日数
10msec	2.5mA	約 15 日
20msec	2.0mA	約 19 日
32msec	1.5mA	約 25 日
62msec	0.9mA	約 50 日
125msec	0.6mA	約 70 日

予約開始時の待機時の消費電流は 500uA 以下です。

G-TRACE (別売オプションソフト)

価格 12,800 円(13,440 円)

機能

G-MEN リアルモード	リアルモードにて計測記録
	本体とパソコンと接続しながら計測
取得データ解析	データへのマーキング機能
	データ抽出機能
3D View	G-MEN DR10・DR02 の軌跡を 3D で表示
(G-MEN DRのみ)	する
自動運用	タスクに常駐することができ、G-MEN を
	USB 接続するだけで データを取得する機
	能。

サポートセンターへのお問い合わせ

サポートセンターへのお問い合わせは「ユーザー登録」された方に限ります。 お知らせいただく内容

- 1. お客様の氏名(会社名)、電話番号、住所
- 2. ご使用の製品名
- 3. ご使用環境(接続されている機器)
- 4. 現在の症状を詳しくお伝えください。

サポートセンター TEL:0263-27-7723 FAX:0263-28-7117 月曜日~金曜日(祝日・弊社休日は除く) 9:00~12:00 13:00~17:00